

ホクコースタークル[®]粒剤

■種類名：ジノテフラン粒剤
 ■有効成分：ジノテフラン----- 1.0%
 ■化管法指定物質：ジノテフラン [第1種] ----- 1.0%

■登録番号：第20807号
 ■毒性：普通物(毒劇物に該当しないものを指している通称)
 ■登録初年：2002.04.24
 ■性状：類白色細粒
 ■有効年限：5年
 ■包装：1kg×12袋、3kg×6袋
 18kg×1袋

【特長】

- フラニコチニル系殺虫剤ジノテフランの粒剤。
- 広い殺虫スペクトラムでアブラムシ類、コナジラミ類、カメムシ類、ウンカ・ヨコバイ類、コナカイガラムシ類などの植物を吸汁加害する半翅目害虫、薬剤抵抗性が問題になりつつあるイネドロオイムシや重要な土壌害虫キスジノミハムシなどのコウチュウ目、野菜・花きの難防除害虫マメハモグリバエ等のハエ目や、アブラナ科野菜の大害虫コナガおよびアザミウマ目にも高い効果を示す。

【適用内容】(2024年11月末日現在)

作物名	適用害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジノテフランを含む農薬の総使用回数
稲	ウンカ類 ツマグロヨコバイ ニカメイチュウ カメムシ類 イネドロオイムシ イネミズゾウムシ	3kg/10a	収穫7日前まで	3回以内	散布	4回以内 (育苗箱への処理及び側条施用は合計1回以内、本田での散布、空中散布、無人航空機散布は合計3回以内)
だいず えだまめ	フタスジヒメハムシ	6kg/10a	は種時	1回	播溝土壌混和	3回以内 (は種時の土壌混和は1回以内、散布、空中散布、無人航空機散布は合計2回以内)
きゅうり	ハモグリバエ類	2g/株	育苗期 定植時		株元散布 植穴土壌混和	4回以内 (育苗期の株元散布及び定植時の土壌混和は合計1回以内、定植後の株元散布は1回以内、散布は2回以内)
	コナジラミ類 アブラムシ類	1~2g/株	育苗期		株元散布	
	アブラムシ類 コナジラミ類	1g/株	生育期 但し、 収穫開始14日前まで			
			1~2g/株			
	アザミウマ類	2g/株	定植時		植穴土壌混和	
うり類 (漬物用)	アブラムシ類 コナジラミ類	1~2g/株	定植時		植穴土壌混和	3回以内 (定植時の土壌混和は1回以内、散布は2回以内)
メロン	ハモグリバエ類	2g/株	育苗期		株元散布	3回以内 (育苗期の株元散布及び定植時の土壌混和は合計1回以内、散布は2回以内)
	アザミウマ類 ハモグリバエ類		定植時		植穴土壌混和	
	コナジラミ類	1~2g/株	育苗期		株元散布	
	アブラムシ類	1g/株	定植時	植穴土壌混和		
	コナジラミ類	1~2g/株	定植時			
すいか	ワタアブラムシ	2g/株	生育期 但し、収穫21日前まで 育苗期	株元散布	4回以内 (育苗期の株元散布及び定植時の土壌混和は合計1回以内、定植後の株元散布は1回以内、散布は2回以内)	

作物名	適用害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジメフランを含む農薬の総使用回数
かぼちゃ	アブラムシ類 コナジラミ類	2g/株	定植時	1回	植穴土壌混和	3回以内 (定植時の土壌混和及び育苗トレイへの灌注は合計1回以内、散布は2回以内)
にがうり	コナジラミ類		定植時		植穴土壌混和	3回以内 (定植時の土壌混和は1回以内、散布は2回以内)
ズッキーニ	アブラムシ類	1g/株	生育期 但し、収穫開始 14日前まで		株元散布	4回以内 (定植時の土壌混和は1回以内、定植後の株元散布は1回以内、散布は2回以内)
なす	ハモグリバエ類	2g/株	育苗期	1回	植穴土壌混和	3回以内 (育苗期の株元散布及び定植時の土壌混和は合計1回以内、散布及び定植後の株元散布は合計2回以内)
	ハモグリバエ類 アザミウマ類 アブラムシ類	1~2g/株 1g/株	定植時			
	コナジラミ類	1~2g/株	育苗期			
	アブラムシ類 コナジラミ類	1g/株	生育期 但し、収穫前日まで	2回以内	株元散布	
	ハモグリバエ類	1~2g/株	育苗期	1回	植穴土壌混和	
	コナジラミ類		定植時			
トマト ミニトマト	コナジラミ類 アブラムシ類	1g/株	生育期 但し、収穫前日まで	2回以内	株元散布	
	コナジラミ類	培土1斗 当り10g 1~2g/株	は種前	1回	培土混和	
	アブラムシ類	1g/株	定植時		植穴土壌混和	
	アザミウマ類	1~2g/株	定植時	1回	植穴土壌混和	
ピーマン	アブラムシ類	1g/株	生育期 但し、収穫前日まで	2回以内	株元散布	3回以内 (育苗期の株元散布及び定植時の土壌混和は合計1回以内、散布及び定植後の株元散布は合計2回以内)
	コナジラミ類		育苗期			
とうがらし類	アブラムシ類	1~2g/株	生育期 但し、収穫開始 14日前まで	1回	株元散布	4回以内 (育苗期の株元散布及び定植時の土壌混和は合計1回以内、定植後の株元散布は1回以内、散布は2回以内)
	アザミウマ類		定植時			
とうがらし(葉)	アザミウマ類 アブラムシ類	1g/株	定植時 但し、収穫 30日前まで		植穴土壌混和	3回以内 (定植時の土壌混和は1回以内、散布は2回以内)

作物名	適用害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジメチアザリンを含む農薬の総使用回数
キャベツ	アブラムシ類	2g/株	育苗期	1回	株元散布	3回以内 (育苗期の株元散布、定植時の土壌混和及び灌注は合計1回以内、散布及び無人航空機散布は合計2回以内)
	ハイマダラノメイガ	3g/株				
	コナガ アオムシ	2~3g/株				
はくさい	ハイマダラノメイガ	3g/株	定植時	1回	植穴土壌混和	3回以内 (定植時の土壌混和及び灌注は合計1回以内、散布は2回以内)
	アブラムシ類					
ブロッコリー	アブラムシ類、コナガ	2g/株				3回以内 (定植時の土壌混和及び灌注は合計1回以内、散布及び無人航空機散布は合計2回以内)
ねぎ	アザミウマ類 ハモグリバエ類	6kg/10a	は種時	2回以内	株元散布	4回以内(は種時の土壌混和、育苗トレイへの灌注及び定植時の株元散布は合計1回以内、生育期の株元灌注は1回以内、散布、無人航空機散布及び定植後の株元散布は合計2回以内)
	アザミウマ類 クロバネキノコバエ類		定植時			
	ハモグリバエ類	6~9kg/10a	生育期 但し、収穫 3日前まで			
わけぎ	アザミウマ類 ハモグリバエ類	6kg/10a	生育期 但し、収穫 21日前まで			4回以内 (定植後の株元散布は1回以内、生育期の株元灌注は1回以内、散布は2回以内)
レタス 非結球レタス	ナモグリバエ	培土1㎡当り 15g	は種前	1回	培土混和	4回以内 (は種前の培土混和は1回以内、育苗期の株元散布、定植時の土壌混和及び育苗トレイへの灌注は合計1回以内、散布は2回以内)
		1g/株	育苗期後半		株元散布	
	アブラムシ類 ナモグリバエ	2g/株	定植時			
にんじん	ハモグリバエ類	9kg/10a	は種時	1回	播溝土壌混和	4回以内 (は種時の土壌混和は1回以内、生育期の株元灌注は1回以内、散布は2回以内)
かぶ	アブラムシ類 キスジノミハムシ					
葉ごぼう	アブラムシ類	6kg/10a	生育期 但し、 収穫 21 日前まで		全面土壌混和	2回以内 (は種時の全面土壌混和は1回以内、生育期の株元散布は1回以内)

作物名	適用害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジメトランを含む農薬の総使用回数
だいこん	キスジノミハムシ	4~6kg/10a	は種時	1回	播溝土壌混和	5回以内 (は種時の播溝土壌混和は1回以内、は種時の全面土壌混和は1回以内、粒剤の散布は1回以内、水溶性剤の散布、液剤の散布及び無人航空機散布は合計2回以内)
		9~12kg/10a			全面土壌混和	
	タネバエ	生育期 但し、収穫 30日前まで	散布			
	アブラムシ類	は種時	播溝土壌混和			
チンゲンサイ	キスジノミハムシ	6kg/10a	定植時	1回	土壌混和	3回以内 (は種時及び定植時の土壌混和は合計1回以内、散布は2回以内)
	アブラムシ類		は種時		播溝土壌混和	
ほうれんそう						
非結球あぶらな科葉菜類 (チンゲンサイを除く)	アブラムシ類 キスジノミハムシ					3回以内 (は種時の土壌混和は1回以内、散布は2回以内)
ふき	アブラムシ類	20kg/10a	定植後~生育期 (草丈20cm頃まで) 但し、収穫45日前まで	1回	土壌表面散布	3回以内 (土壌表面散布は1回以内、散布は2回以内)
いちご	ワタアブラムシ	0.5~1g/株	定植時		植穴土壌混和	1回
かんきつ (苗木)	ミカンハモグリガ	20g/株	育苗期	5回以内	株元散布	5回以内
なし (苗木)	アブラムシ類	20g/株 (但し、10a当り 110kgまで)		1回		1回
くわい		3kg/10a	収穫30日前まで	3回以内	散布	3回以内
らっきょう	アザミウマ類	6kg/10a	生育期 但し、 収穫前日まで			
オクラ	アブラムシ類	9kg/10a	生育期 但し、収穫開始 14日前まで	1回	株元散布	3回以内 (株元散布は 1回以内、 散布は2回以内)
実えんどう さやえんどう	ハモグリバエ類					
さやいんげん	アブラムシ類					
しょうが	クロバネキノコバエ類		生育期 但し、 収穫14日前まで			
しそ	マデイラコナカイガラムシ	2g/株 (但し、10a当り 25kgまで)	定植時	1回	植穴土壌混和	3回以内 (定植時の土壌混和は1回以内、散布は2回以内)
セルリー		2g/株				
食用ぎく	アブラムシ類	1g/株 (但し、10a当り 30kgまで)	定植時	1回	植穴土壌混和	3回以内 (定植時の土壌混和は1回以内、散布は2回以内)
		マメハモグリバエ				
しゅんぎく	ハモグリバエ類	9kg/10a	は種時	1回	播溝土壌混和	3回以内 (は種時及び定植時の土壌混和は合計1回以内、散布は2回以内)
			定植時		植溝土壌混和	

作物名	適用害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジメフロンを含む農薬の総使用回数
さとうきび	カンシャコバネナガカメムシ	6～9kg/10a	生育期 但し、収穫45日前まで	2回以内	散布	5回以内 (粒剤は2回以内、液剤、水溶剤及び水和剤は合計3回以内)
	メイチュウ類	9kg/10a				
茶	クワシロカイガラムシ	12kg/10a	摘採7日前まで		株元土壌混和	2回以内
きく ガーベラ	コナジラミ類	1g/株 (但し、10a当り 30kgまで)	定植時	1回	植穴土壌混和	5回以内 (土壌混和は 1回以内)
	アブラムシ類	20kg/10a	生育期	5回以内	株元散布	
	マメハモグリバエ	2g/株 (但し、10a当り 30kgまで)	定植時	1回	植穴土壌混和	
花き類・ 観葉植物 (きく、 ガーベラを 除く)	アブラムシ類	20kg/10a	生育期	5回以内	株元散布	
	コナジラミ類	1g/株 (但し、10a当り 30kgまで)	定植時	1回	植穴土壌混和	
つつじ類	ツツジグンバイ	6kg/10a	発生初期	5回以内	株元散布	5回以内
いぐさ	イグサシンムシガ	3～6kg/10a		2回以内	散布	2回以内

【効果・薬害等の注意】

- 使用量に合わせ秤量し、使いきることを。
- 本剤を水稻及びいぐさに使用する場合には、湛水状態（3cm程度）で田面に均一に散布し、4～5日間は湛水状態を保ち、散布後7日間は落水やかけ流しをしないこと。
- 本剤をくわいに使用する場合には、田面に均一に散布し散布後4～5日間は湛水状態を保ち、散布後7日間は落水やかけ流しをしないこと。
- つまみ菜・間引き菜には使用しないこと。
- 本剤の株元散布を行う際は、処理直後に灌水すること。
- かんきつ及びなしに用いる場合は、今期に収穫見込のない苗木に対して株元散布し、処理後は軽く散水すること。なお本剤を散布してから効果を発揮するまである程度の期間を要するため、対象害虫の発生前に予防的に散布すること。
- ふきに使用する場合には、葉に付着した薬剤は払い落とすこと。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにすること。
- ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意すること。
 - ◆ ミツバチ等の巣箱及びその周辺に飛散するおそれがある場合には使用しないこと。
 - ◆ 関係機関(都道府県の農業指導部局や地域の農業団体等)に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農業使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努めること。
- 容器・空袋は圃場などに放置せず、適切に処理すること。
- 本剤の使用に当たっては使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意すること。とくに適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤をはじめて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用すること。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

【安全使用上の注意】

- ❖ 街路、公園等で使用する場合は、使用中及び使用後（少なくとも使用当日）に小児や使用に関係のない者が使用区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払うこと。
- ❖ 魚毒性等：水産動植物(甲殻類)に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用すること。
散布後は水管理に注意すること。
- ❖ 保管：直射日光を避け、食品と区別して、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管すること。